

広島県高体連主催大会における大会開催の考え方について(新型コロナ感染拡大防止集中対策の対応 12/12~1/17まで延長) [R2.12.25]

広島県高等学校体育連盟ガイドラインより

■ 高体連主催大会（地区大会も含む）開催・継続の基準について

- 1 県内及び開催地域の感染状況等を勘案して、安全な開催ができない場合※は、健康福祉局、教育委員会及び専門家と連携し、大会を中止、縮小等について判断する。
- 2 各競技において、大会前日までに、出場者数が参加申込人数の8割を下回った場合、再度感染予防策等、安全面を確認した上で、主催者は大会継続の可否について、検討する。

※ 安全な開催ができない場合・・・県（各市町等）の感染状況の段階が上がった場合（ステージ4が目安）や、開催地域等での感染が拡大（会場の所在市町及びその隣接する市町などを想定）している場合、大会中に大会参加者や関係者の感染者が複数確認（クラスターが発生した場合を想定）された場合など

＜～1/17まで広島市に1市3町(廿日市市, 府中町, 海田町, 坂町)を加え、「新型コロナ感染拡大防止集中対策」が取られていることに関する対応＞

大会を開催するための要件: ①公式戦であること、②原則、上位大会(中国大会、全国大会等)に続く予選会であること、③開催日の延期や中止が困難であり、この時期の開催が必要であること。

以上の要件を満たした大会において、感染防止対策を徹底した上で開催することができる。なお、開催する場合であっても、可能な範囲で、規模の縮小(試合数の減少、時間短縮等)や開催方法(待機時間削減、無観客等)を検討する。

参考

学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル(2020.12.3 Ver.5) [文部科学省] より

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準				新型コロナウイルス感染症対策分科会提言より			
身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動		部活動(自由意思の活動)	地域の感染レベル	今後想定される感染状況		講ずべき施策の提案
できるだけ2m程度(最低1m)	行わない		個人や少数者での感染リスクの低い活動で短時間での活動に限定 <small>(密集する運動や近距離で組み合ったり接触したり、向かい合って発声する場面が多い活動は行わない)</small>	レベル3	ステージ4	爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階 病院間クラスター連鎖などの大規模かつ深刻なクラスター連鎖が派生し、爆発的な感染拡大により、高齢者や高リスク者が大量に感染し、多くの重傷者及び死亡者が発生し始め、公衆衛生体制及び医療提供体制が機能不全に陥ることを避けるための対応が必要な状況。	全面的な接触機会の低減 緊急事態宣言など、強制性のある対応の検討 ・接触機会の低減を目指した外出自粛の要請 ・県境を越えた移動の自粛要請 ・人が集中する施設や公共施設の人数制限や閉鎖等 ・イベントは原則開催自粛 ・生活圏での感染があれば学校の休校等検討
これ以上は大会開催が困難なレベル					ステージ3	感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階	メリハリの利いた接触機会の低減 ・イベント開催の見直し ・感染予防を徹底できない場合等における、感染が拡大している地域との県境を越えた移動自粛の徹底 ・部活動等における感染予防の徹底
1mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること	[↓収束局面] 感染リスクの低い活動から徐々に実施	[↑拡大局面] 感染リスクの高い活動を停止	感染リスクの低い活動から徐々に実施し、教師等が活動状況の確認を徹底 <small>(密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い活動、向かい合って発声したりする活動は慎重な検討が必要)</small>	レベル2	ステージ2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階 3密環境などリスクの高い場所でクラスターが度々発生することで、感染者が漸増し、重傷者が徐々に増加してくる。このため、保健所などの公衆衛生体制の負荷も増大するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する医療以外の一般医療も並行して実施する中で、医療体制への負荷が蓄積しつつある。	
1mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること	適切な感染対策を行った上で実施		十分な感染対策を行った上で実施	レベル1	ステージ1	感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階	【ステージの指標】 ○医療提供体制等の負荷[①病床のひっ迫具合 ②療養者数] ○監視体制[③PCR陽性率] ○感染の状況[④新規感染者報告数 ⑤直近一週間と前週一週間の比較 ⑥感染経路不明割合]